

令和6年9月9日

五戸町議会第7回定例会 一般質問通告一覧表

通告 順位	質問 方式	質 問 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨
1	一 問 一 答	豊 田 孝 夫	1. 町道の保全管理に係る事項について	町道の路肩や法面に生えている樹木や草本類の管理について、通行上の支障になる場合や、事故を誘発する原因となりうる箇所が散見される。事故を未然に防ぐよう対策を取るべきだと考える。 については次の項目についてお答え願いたい。 (1) 町道の保全管理について現状把握のためにどのような対策を行っているか。 (2) 町道の路肩や法面に生えている樹木や草本類の伐採や除去はどのように行っているか。樹木の枝が伸びて道路を覆いつくす箇所も見受けられる。大型車が通行する度に枝葉に触れ、路上に落下する箇所も見受けられる。 (3) 大雨の被害で側溝が流され、舗装路面の路肩がえぐり取られ、走行に危険を感じる箇所もある。危険箇所を運転者に知らせる対策をどのようにしているか。

通告 順位	質問 方式	質 問 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨
			2. 急傾斜地の崩落防止対策について	五戸川が急傾斜地の崩落によりせき止められた場合、川原町地区の川原町、西裏、伝兵衛丁、下裏地域が浸水のおそれがある。特に天満の崖や、歴史みらいパークの裏の急傾斜地が崩落した場合のことを想定すると、早急の対策が必要と考える。平常時に非常時を想定して対策を行うことは防災上非常に有効な手段となりうる。 ついては次の項目についてお答え願いたい。 (1) 歴史みらいパーク裏から館、沢、野月地区につながる五戸川河畔の急傾斜地の崩落防止対策はどのようなになっているか。 (2) 天満の崖と呼ばれる箇所はコンクリートで崩落防止対策を行っているが、完工年月はいつであったか、そして、その後の点検等は実施しているかどうか、また、その点検方法はどのようにしているか、点検しているのであればその頻度は。 (3) 町内において、崩落の危険性のある箇所を把握しているかどうか、あるとすれば何箇所であるか。 (4) 川原町地区の避難所は五戸高校が指定されていたが、廃校になった今新たに指定すべきではないか。その考えは。

通告 順位	質問 方式	質 問 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨
2	一 問 一 答	高 奥 浩 明	1. 「オーガニックビレッジ宣言」について	令和5年3月に五戸町産の安全でおいしい有機農産物が消費者に受け入れられるよう町全体で有機農業に取り組むことのできる環境づくりの実現に向け、「オーガニックビレッジ宣言」が行われてから約1年半となった。 ついては、『五戸町有機農業実施計画』について伺う。 (1) 令和5年度にはどのような施策を行い、どんな成果があったのか。 (2) 5年後に目指す目標に対する現状はどうなっているか。 (3) 令和6年度にはどのような施策を計画・実施しているのか。
			2. 『五戸町空き家等対策計画』について	令和5年度に実施した五戸町空き家等実態調査の結果、空き家数が820件となっていることがわかり、今後も空き家等の増加が見込まれることから、令和6年3月に生活環境の保全及び安全に安心して暮らせるまちづくりの推進に寄与することを目的として『五戸町空き家等対策計画』を策定している。 ついては、『五戸町空き家等対策計画』について伺う。 (1) 計画の進捗管理について、設定した評価指数の進捗状況について。 (2) 倒壊や建築材の飛散等危険が切迫しており、緊急度が極めて高く、解体等が必要と思われ、対応を講じなければならない老朽危険度判定ランクD（91件）の空き家に対する対応について。

通告 順位	質問 方式	質 問 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨
			3. 五戸高等学校跡地の活用について	8月28日の新聞において五戸高等学校跡地に県内の私立高校を誘致する方針であるとの報道がなされた。五戸高等学校が令和4年3月に閉校となり、町から高校がなくなり非常にさみしい思いをしていた私たち町民には非常にうれしい発表である。 については県内私立高校の五戸高等学校跡地への誘致について伺う。 現時点では明らかにできないこともあると思うが、明らかにできる範囲でお答え願いたい。 (1) 今回の県内私立高校誘致の方針が決まった経緯について。 (2) 開校の時期、生徒の規模、五戸町の財政負担などの計画について。

通告 順位	質問 方式	質 問 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨
3	一 問 一 答	佐々木喜克	1. 消防団の体制と現状の待遇について	昨今の地震、大雨等の自然災害の多発、火事出動など地域防災のまさに要ともいえる五戸町消防団は地域密着の防災意識は近隣町村でも随一かと思う。しかしながら、団員数の減少により現役団員の負担の増加が問題視されてきていることも事実であり、その活動に対し町はどのような対応、計画があるのか、伺っていききたい。 (1) 現在の消防団の構成と、年齢層、過去5年の新規団員加入の推移を伺う。また、今後の新規消防車両導入の計画、分団の合併計画の有無についてはいかがか。 (2) 消防団、又は団員個人に対して町が行っている施策はどのようなものがあるか。 (3) 各行事（月例、初午、観閲式、操法大会）の団員の負担軽減について町はどのような対策が必要であるかお答えいただきたい。

通告 順位	質問 方式	質 問 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨
			2. 小1の壁と放課後 児童クラブについて	昨今、小1の壁と称し社会問題となっている課題がある。五戸町でもこの課題はあり、保育園との預かり時間の差が一番にこの問題を発生させている。その他にもPTA活動、長期休み等、仕事と子育ての両立をより難しくさせている。今回はその対策の一つである放課後児童クラブについて伺ってきたい。 (1) 現在の児童クラブの各施設の利用状況（学年、平日、土曜日別利用人数、時間別利用者数等）、またスタッフ雇用状況について伺いたい。 (2) 現利用者からの不満や要望等は把握しているのか、今後どのような対策を行っていくのか伺いたい。また、対応していただいているスタッフの就労環境についても改善の計画があるならば併せて伺いたい。 (3) 児童クラブの担当課は福祉課となっているが、教育課及び教育委員会との連携、情報共有はどのように行われているか。 (4) 一時預かりの施設とはいえ、安心安全が大前提となってくるが、各施設の防犯、防災体制はどのようなになっているのか。

通告 順位	質問 方式	質 問 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨
4	一 問 一 答	鈴木 隆 也	1. 倉石温泉の運営について	倉石温泉について、施設の老朽化によって営業を中断し、一時は倉石温泉運営事業検討委員会によって廃止もやむなしと町に答申された。 しかし、倉石地区住民を中心にした存続の要望活動を受け、若宮町長は今回限りと条件を付けて大規模改修を判断し、新たな事業者によって営業が再開された。 これは大変喜ばしいことだが、昨今の燃料費や人件費などあらゆるものが高騰する中で浴場施設を管理運営することは大変なものであると推察される。 今後の施設運営について次の2点を伺う。 (1) 施設は物理的に必ず老朽化する。施設維持の費用負担はどこに所在するのか。また、今後必ず訪れるであろう大規模改修のための予算を積み立てておく必要があると考える。次の大規模改修について所感は。 (2) 施設の利益を上げるために誘客の取組を継続的に行う必要があるが、事業者だけでは限界があり、地域を巻き込んだ取組が不可欠ではないか。町は両者の間を取り持ち、町、地域、事業者が共になり倉石温泉を魅力的なものに作りあげていく環境を整える必要があると考える。町の担うべき役割をいかに考えるか。

通告 順位	質問 方式	質 問 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨
			2. 川内地区の2つの 小学校の統合につ いて	児童数の減少により切谷内小学校では複式学級が常態化し、今後もその状況が続く見通しだ。上市川小学校については当面複式学級にはならないものの、同じく児童数の減少は顕著である。 複式学級が必ずしも教育上、劣るものではないと思うが、多くの保護者から早期の統合を望む声が聞こえる。 特に、先般参加した『川内地区小学校適正配置検討委員会』では、「新設の校舎にはこだわらない」、「スクールバス運行を整備してもらえれば現切谷内小校舎又は現上市川小校舎を統合した小学校の校舎に供用してもらってもかまわないので早期に統合してもらいたい」との意見も複数あった。教育委員会は川内地区の2つの小学校の統合は、中学校の統合後できるだけ速やかに着手するとこれまで説明してきたが、それでは遅すぎると考える。教育長の所感は。